

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「その人らしい老後を送ることが出来る場所として、地域と共に「百歳から」を理念に入居者への職員のありかた地域とのつながりを大切に日々の実践に繋げている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に所属し、地域活動に参加し事業所開催の行事や会議等地域に発信し参加して頂いている。また、お裾分けやお互い様の精神が根付き地域交流を大切にしている。	・地域高齢者の相談窓口となり内容によっては地域包括に繋げている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議参加者も多く入居者の状況や行事報告は定例であるが時より講習会や講演会等も企画し一緒に学ぶ機会とし、得たものをサービス向上に活かしている。	・開催への協力は大きく意見交換等施設運営に直結する意見も多く聞かれる。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村主催の講演会や研修には積極的に参加しサービス向上・見直しを行っている。状況によっては直接出向き、意見を聞く、相談等行い協力関係を築いている。	・喀痰吸引等の更新時は(県)へ研修や認定更新時は(市)などその都度連携を図っている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束に関する理念や方針を明確化し「身体拘束廃止委員会」を設け必要に応じ開催している。職員は身体拘束のないケアの実現に向けて取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・身体拘束委員会H28発足(年4回)H29(4回)H30(8回)R1(6回)R2(8回)R3(9回)R4(5回)必要に応じて開催、11項目の確認している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢者虐待防止法については勉強会等を通じて職員は周知している。また、万が一、状態を発見したならば主治医と連携を図っていく。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・主治医(稲倉医院・若草病院・北歯科)毎月往診前の状況報告し入居者の状況変化時は主治医・家族・施設でのカンファを実施。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は勉強会にて「権利擁護や成年後見制度」について学びマニュアルをいつでも閲覧できるようにしている。必要な場合、市や包括支援センターとの連携にて入居者や家族を支援している。			・「権利擁護及び成年後見制度」について学ぶ機会を設け実際利用されている方とは連携が図れている。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約前に見学、説明を時間かけて行い質問等にお応えしている。契約の際は理解・納得して頂けるよう心掛け途中解除では家族が不安や疑問を抱えていないか十分配慮している。			

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所への意見・要望が言いやすい雰囲気や心掛け意見箱の設置及び面会時に直接聞ける相談窓口がある。また、運営推進会議でも問題解決を話し合い事業所運営に反映している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者を訪ね生活具合やレクの希望など聞く時間を設け、家族には推進会議や個別面談等を利用して色々な意見や要望等を施設運営に繋げている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の職員会議や個別面談にて職員の意見を聞く機会を設け代表者や管理者は常に検討、必要に応じて案を反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者や管理者は職員の努力や実績、勤務姿勢を把握し、給与・労働時間・やりがい等を考慮し各自、向上心がもてるように環境整備に取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の働きやすい環境を提供するため個々の働き方を優先しそれに見合う給与・労働時間・自己の向上のための研修等を反映させている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は、管理者や個々職員の段階に応じた研修を希望すれば受講できるように支援している。研修内容は全ての職員が周知しており協力体制が確立している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の職員がスキルアップを目標に努力する場面ではできるだけ協力支援できるように努めている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近年はリモートではあるがグループホーム連絡協議会主催研修や同業者との意見交換会等を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意思で日常生活を送り、場面の中で共に支え合いながら安心した関係づくり構築し、お互い寄り添いながら教え合い労をねぎらい良い関係を作り上げている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族と共に協力して入居者を支えることでよい関係づくりを支援できている。入居者の取り巻く環境を失うことなく継続できるように工夫している。	家族よりいつも動画を楽しんでいます。皆様の様子が見られて安心です。		

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の想いを引き出す取り組みとしてセンター方式を活用し、職員は認知症を理解し、本人の視点に立ち、意向に沿った介護に向けて取り組んでいる。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護計画は本人や家族の意向の実現と継続のために聞き取りをし、毎月のモニタリングと3か月ごとの見直しを行いチームの合意と共有を確認した介護計画を作成している。	・本人・家族の意向の実現と継続の為に聞き取りし、毎月のモニタリング及び3か月の見直しを行っています。	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式D-3、4、5にて日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を記録に残し半年ごとにD-1、2で経過を把握家族に報告している。変化を見逃さず必要なケアの実践や見直しが出来ている。		①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・センター方式を活用し記録を残し、必要なケアの実践及び見直しができている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ②. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族からの要望があれば必要に応じて話し合いニーズに合わせた支援方法を模索し柔軟に対応している。	主治医による訪問診療、訪問看護、薬剤師による居宅量管理指導、歯科・皮膚科・眼科往診など多職種と協力し入居者を多種多様な専門職の力を支えている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	警察や消防署には安全な暮らしの確保、芸術・文化・音楽は心豊かな環境、移動図書館では教養娯楽、福祉バスでの楽しみ、充実した暮らしの実現に取り組んでいる。	地域資源の一つである当事業所も介護実習生の受け入れや認知症サポーター講師等の派遣等も行い役割を担っている。地域のお役に立ち、地域の皆様と共に暮らしを楽しんでいる。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人、家族の希望を尊重し入所前と同じように継続支援が受けられるよう心掛けている。内科・精神科・眼科・皮膚科など専門医は必要時に応じて往診し適切な医療が受けられるようにしている。			・主治医(内科)稲倉医院、(精神科)若草病院(歯科)北歯科、(皮膚科)蜂須賀クリニック(眼科)もりやま眼科、全て往診対応。必要時で江南訪問看護、生協れいんぼう訪看を導入し医師との連携も図れている。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関とカンファレンスを重ね入居者が入院時のストレスや不安を抱え込まない体制を整え医療連携、家族支援に努める。入院中は本人の状態確認や早期退院に向けて支援し、退院後も報告や相談が出来る関係づくりをしている。		①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・医療と介護の連携シートを作成し協働が出来ている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師・訪問看護・家族・職員で定期的に話し合いを持ち、終末期ケアに取り組んでいる。終末期ケアに向けての環境整備として、訪問看護から研修・指導を受けチームケアでの支援に取り組んでいる。		①. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・医師、訪看、家族、施設で定期的に話し合いを持ち終末期ケアに取り組む、終末期のケアに向けての環境整備も整っている。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変及び事故発生時のマニュアルを設け定期的に勉強会等で把握している。自施設のみならず地域資源を活用し外部の研修や訓練等の参加にて実際の場面で活かせるように実践力を培っている。			急変時を見据えた訓練や患者情報提供書(緊急時情報)を作成しDNRの確認書記入済。R5.7/29推進会議で心肺蘇生訓練実施予定。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている ㉡. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害対策に関する研修に参加し、避難訓練等に役立てている。夜間を想定した訓練も実施し、避難先として隣マンションと協定を結び、協力体制を築いている。備蓄も定期的に入れ替えを行っている。	・夜間を想定した訓練(避難先として隣のマンション)と協定を結び協力体制を築いている。 ・家族より:コロナ禍でも実施できることを望みます。	㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ㉢. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は入居者一人ひとりの尊厳とプライバシーの保護について理解している。居室への出入りやテーブルの座席配置に気を配り職員同士の会話からも人格や誇りを傷つけないよう努めている。		㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式を活用しその人の背景を知ることで人格や誇りを大切に職員は声掛けやケアに取り組んでいる。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員側の都合で業務を遂行するのではなく個々の状態や望むペースに合わせその人らしく一日を過ごして頂けるよう柔軟に対応している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者個々に分担し食事の盛り付け等を行い手が止まるときに職員が声掛けしている。施設畑で収穫した野菜は匂を通して食卓に上る。自分達の役割として実感できるように支援している。		㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自家製野菜は施設内畑で旬を頂き入居者は一緒に食事の準備行う。月2回、調理実習があり、入居者のリクエストで企画される。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に応じた形態、バランス、量加減にて食べる楽しみを感じて頂けるよう工夫している。また、食量低下が著しい場合は主治医より補助食等の指示が出る。月1回の体重測定にて状況に応じて主治医及び家族に報告している。			た食事提供の為主治医や栄養士の指導を受け量や形態を変えている。また、遺漏者が2名在籍しており全職員喀痰吸引従事者(11名、県登録者)にて安全に提供できている。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後のケア及び義歯洗浄にて清潔保持に努め歯科主治医との連携にて口腔全般の状態把握と緊急時の対応が受けられる。年2回定期健診にて良い状態が保たれている。		㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアは清潔保持が基本で食前に口腔体操を取り入れ唾液の分泌を促し、ケア時は磨き残しの確認、義歯の定期的洗浄を行う。定期的に歯科訪問で状態観察し磨き方指導等も受けている。また、痰がらみで吸引が必要な方はその都度行い気持ちよく生活して頂いている。(全職員認定特定行為業務従事者資格あり)
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の自立習慣が継続されるよう、チェック表を活用し、パターンやサインに注意しさりげなくトイレに誘導している。2名の介助が必要な入居者にも、トイレ誘導による排泄を支援している。		㉠. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	おむつからリハビリパンツへの移行や排便コントロールにてスムーズな排便と体調管理ができています。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそうした支援をしている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの希望に沿うように、時間帯や入浴回数等を工夫している。入浴前に健康状態を確認しコミュニケーションを図りながら自己にてできることはして頂き心身共にくつろげる時間となるよう支援している。			・R5.6/16 恒例の温泉、今回は施設外に簡易露天風呂を作り皆さん楽しめる。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の睡眠パターンを把握し、一日の流れの中で十分な休息や安眠が図れるように生活習慣の把握や環境での工夫をし、緊張や疲労での一服等、心身を休める場面を取り入れている。			・メリハリのある生活を基本に本人の状態に応じた休息の取り方を工夫し一日を過ごされている。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医及び管理薬剤師を持ち、症状に応じた薬の内容、用法、用量等を説明されている。また、状況によってはカンファレンスを行い服薬変更時は職員も周知している。服薬は誤薬や飲み忘れがないよう管理されている。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・多々の医療機関との連携を図っているため服薬は薬剤師管理となっている。また、薬剤師は医師と疑義照会を行うことで安全な薬の提供ができています。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式を利用し生活歴や楽しみ、嗜好を知ることで本人が有する力をふまえやりたい事、できる事での役割が持てるように支援している。	・個々の状態に合わせた役割や行事の他、バス旅行や調理実習など生きがいがや楽しむ余暇の使い方を提供している。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出は積極的に取り組み希望での個別支援、行事としてのバス旅行、地域資源を利用した芸術・文化・音楽等に触れ合う機会をもち、入居者は外出を楽しみにしている。	・地域資源を利用し趣味や楽しみ喜びなど、笑顔が沢山見られる支援を行っている。		
37	お金の所持や使うことへの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己にて管理できる方は必要に応じて使えるお金を持ち出来ない方は家族と相談の上、施設管理としている。その際、明細書及び領収書にて確認している。買い物支援についてはご家族も理解して頂いている。			・旅行や買い物支援を行うため職員の見守りの中、手に取って選び精算がスムーズにできる様に支援している。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	A. 充分にできている ⑤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	関係が途切れないようコロナ禍の中ではテレビ電話や動画発信にて対応している。また、時候の挨拶としてはがきや様子を知らせる手紙支援等、職員と共に書き届けている。			・時候の挨拶や近況報告等、手紙や絵手紙を利用し家族と文通している。タブレットでのテレビ電話も楽しみの一つになっている。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	広くスペースを取ることで安全に移動できる空間となっている。天窓から明るい日差しが差し込み夏用には遮光も考えられている。共有スペースは食事やレク等用途に応じて配置がしやすくなっている。また、昔から使われているタンスや飾り物は何かしら懐かしさが感じられるよう気遣いしている。		④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設中心のデイルームはレクリエーションや食事、お友達との団欒の場であり所々に休憩所や図書コーナー置の部屋には、冬は炬燵が用意される。入居者はそれぞれに居場所を見つけ楽しい時間を過ごされている。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の望まれる暮らしについて直接本人と話す機会を設け可能な限り意向に沿う暮らしができるように努めている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式を利用しアセスメントをもとにケアプランを作成している。また、日々の生活の中で変化を見極め支援に繋げている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の健康管理や活動状況、主治医との協体制にて急変時の指示や対応等確に行っている。職員は情報を共有し体調や本人の想いに考慮しながら支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医及び他科往診にて医療面健康面の協体制はできている。また、定期的に検査等も実施され結果について家族に報告、Drからの指示を受けケアに望んでいる。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々のペースを大切に自分らしく普段と変わらない生活できるように支援している。また、状態に合わせた支援方法を常に考えてケアしている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人にとって馴染みの物や大切にしている物、思い出の品など居室が個々の居心地の良い場所になるようレイアウトし家族写真や手紙などいつでも手の届くところにある空間づくりを心得ている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前に本人の馴染みの物、大切にされている物などを近くに置くことで安らぎが生まれます。担当者が家族から聞き込みを行い本人の居心地良いお部屋を入居者と一緒作っている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍ではあるが施設内での行事やレクリエーション、施設外では密を避けての遠足やバス旅行等も入居者が楽しみにして下さる以上規模は小さくても実現に向けて努力している。入居者の笑顔が見ることが一番嬉しい。	・月1回のバス旅行企画や時候ごとの行事企画、誕生日や散歩など企画担当者がスケジュール調整を行っている。		

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	㉠. 充分にできている ㉡. ほぼできている ㉢. あまりできていない ㉣. ほとんどできていない	センター方式D-1、D-2を6か月毎に更新し「できること」「わかること」を把握し個々に役割を担い生活リハビリに繋げている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	㉠. 充分にできている ㉡. ほぼできている ㉢. あまりできていない ㉣. ほとんどできていない	生活リハビリはもとより学習療法、園芸療法等の活動を日々の生活の中に取り入れ毎日が充実している。本人のやりたいことを中心にプログラムが構成されている。		㉠. 充分にできている ㉡. ほぼできている ㉢. あまりできていない ㉣. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	㉠. 充分にできている ㉡. ほぼできている ㉢. あまりできていない ㉣. ほとんどできていない	地域の行事や清掃活動など地域に溶け込んだ施設づくりを目指し入居者が地域の一員として慣れ親しんで生活できるよう心掛けている。	・コロナ禍で地域行事が激変したが地域の清掃活動等には参加、また自治会主催月1回のロコモ体操サロンには職員と共に入居者が参加し、楽しませている。		
49	総合	本人は、このGHIにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	㉠. 充分にできている ㉡. ほぼできている ㉢. あまりできていない ㉣. ほとんどできていない	入居者が常に職員と居ることで幸せに感じて頂けるよう寄り添いの気持ちを大切に職員も入居者の笑顔でこの職について良かったと思えるような施設づくりを目標に頑張っています。	・運営推進会議の参加率は良好で入居者への想いを語る大切な時間となっている。	㉠. 充分にできている ㉡. ほぼできている ㉢. あまりできていない ㉣. ほとんどできていない	